

火の活動

# 紐切り式火おこし

協力して火おこしをして、火の大切さを感じてみよう。



|        |  |
|--------|--|
| 対象     | 小学4年生以上  |
| 時間のめやす | 1時間程度  |
| 持ちもの   | 軍手、新聞紙、(つけた火を保管する場合)ろうそく   |
| 貸出品    | 火おこしセット(1セット5人程度)<br>→火きり棒・火きり板・下敷用の板・ハンドピース・ロープ・麻ひも・もぐさ<br>※セットは事前にお申し込みください。費用は「利用の手引き」をご参照ください。 |



①ロープは地面と平行に引っ張り合います(下の写真④)。傾くとハンドピースを  
押さえる人の手に当たり、ヤケドをする場合があります。

②火種に息を吹きかけるとき(下の写真⑥)、急に炎が立ち上がることがあります。  
ヤケドをしないように十分気をつけてください。



1 麻ひもをほぐす。  
新聞紙で『受け皿』  
を作り、写真のよ  
うにセットする。

麻ひもはなるべく  
細かくほぐそう。



4 ロープの両端を持  
ち、矢印の方向に  
交互に引っ張り合  
う。始めは長くゆ  
っくりと。

ロープは地面と平行  
にし、一直線にピン  
と張ったまま引き合  
うのがポイント。



2 ロープを火きり棒  
に2回巻きつけ  
る。

ロープが足に擦れな  
いよう、写真のよ  
うにロープが3本並  
んでいるほうを正面  
にする。



5 火きり板のV字の  
溝に木クズがたま  
り、煙が出てきた  
ら、短くすばやく  
引き、火種を作る。

黒いかたまりがでて  
きたら、優しく息を  
吹きかけよう！赤く  
光ったら火種だ！



3 真ん中の人ハンド  
ピースを上から  
押さえつける。

すねでハンドピース  
を抑えるのがポイント。



6 できた火種を①の  
受け皿に載せ、包  
むようにして横か  
ら息を吹きかけ  
る。  
炎が起きれば、成  
功！

息は細く強く長く吹  
くのがポイント。